

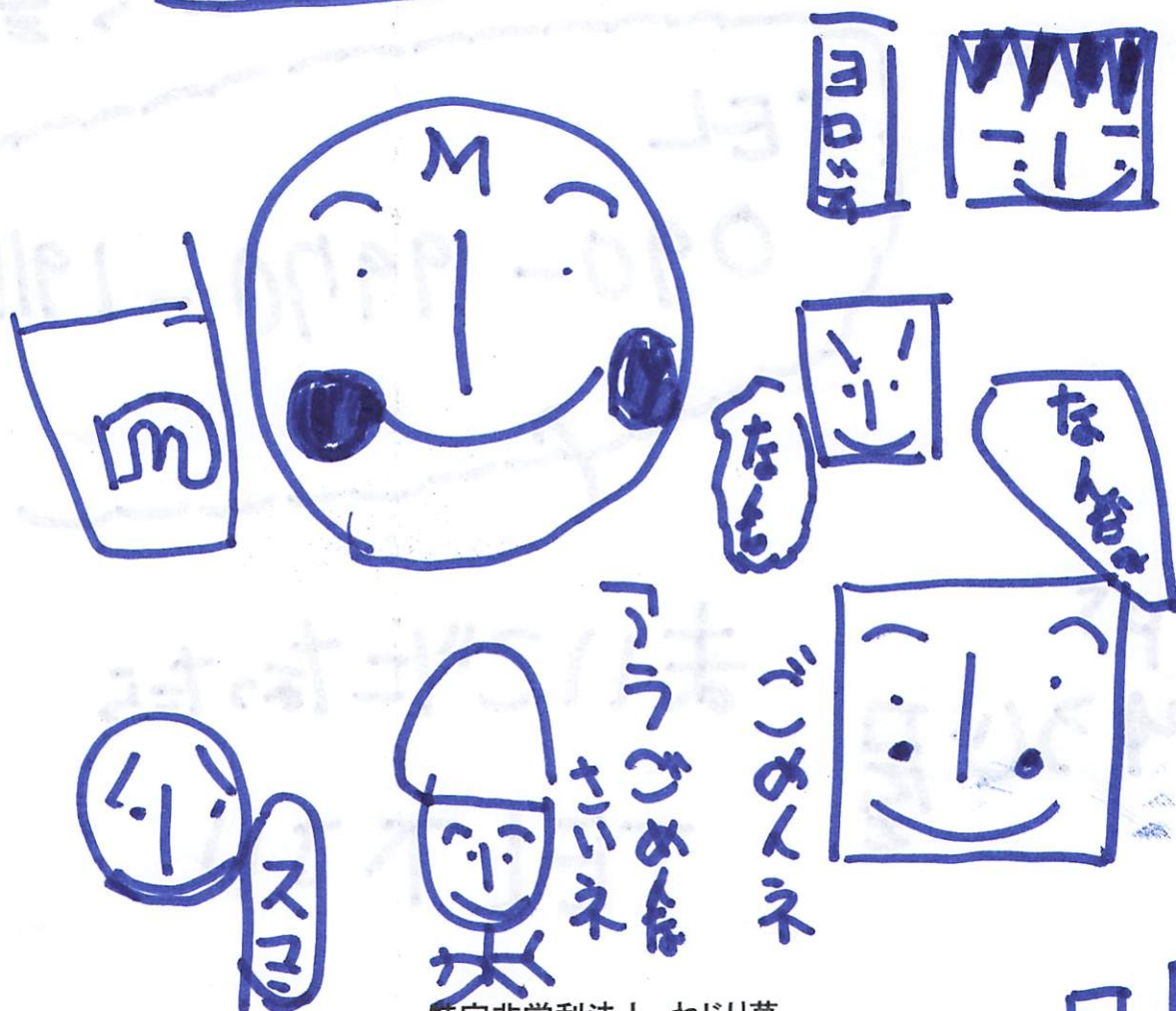
ねじり草

ううかワさん

第192号

(2025.3)

アラ怒
一ヶ月1回小田急とちのち



特定非営利法人 ねじり草

住所:多摩市永山1-1-4 ルミエール103 たこの木クラブ内

電話/FAX:042-389-1378

すいっち日記

泰

2/16(月)にちちっきた会参加した
色々と食べてうまかった!!
たんとってきたのだ!!

3/3(月) ~ 5(木)まで雪はそんなには
つもらなくて、無事仕事行けた!!

3月末には、工賃入るので、
定期代と病院代に使う!!
残りは貯金する!!

Cash card
32に ~~貯金~~
貯金

一ヶ月に1回日曜日
に

夕コ共 パンテ やって ます
参加代0円 交通用
は、自分もち

夕コ共 と の み も の つ き

来 又 る 時 間 は わ か り
ません

PM 12=00 ~ PM 17=00 くらい
3

【重度訪問介護対象拡大から10年何かイベントやりませんか? 6】

岩橋誠治

「重度訪問介護の対象拡大」から10年。「対象を拡大したなら、内容の拡大も」とあれこれ考え中。でも、とともに考えるイベントを開きたいと思いつつ、私自身が迷走し整理不能な状態故に「様々な人と」と言いつつ上手く呼びかけられず未だ実行委員会が開けず。結果、11年目へと突入してしまいました。逆に、重度訪問介護を巡る話のみならず、居宅介護と移動支援と日中活動を使い暮らす人たちの暮らしと支援は、日に日に厳しくなっています。考えを整理し発信するよりも、当事者の暮らしや今後に対応することに追われる日々。心から多くの方たちと考え取り組みたいと切に願っているところです。

そんな危機感とそれが先立つばかりで整理不能な私ですが、「重度訪問介護の対象拡大」を「内容の拡大」と言う切り口で思考することで、「重度であろうがなかろうが、全ての人が地域の中であたりまえに過ごす」と言う事へといろいろ繋げていきたいと願っています。

さて、前号でお伝えした「知的障害のある人の自立生活を考える会 2024 年度オンラインシンポジウム」を私も視聴しました。

「対象拡大」に至る歴史や背景やその裏話も聞く事ができ、当時国に対する動きを見据えつつ、具体的に展開を地元で取り組んでいた私としては、国と直接やり取りしてきた人たちの話と私のリアルから改めて思いめぐらす機会となりました。

少し話はズレますが、最近自宅の片づけをしていると昔のたこの木通信がポロポロと出てきます。ついつい片付け作業を止めて読みふけてしまうのですが、その中に対象拡大に向けて私が書いた記事が混ざっていました。それを読むとその当初から「対象を拡大したなら内容の拡大も」と訴えていた私の記事。「この10年間私はいったい何をしてきたのだろうか?」「同じことを繰り返し言ってるだけではないか!」とちょっと恥ずかしくなりました。それでも、当時考えていたことを改めて読み返すと気づくこともあるので、また別の機会とともに考えるきっかけとできればと思います。

さて、シンポジウムの話に戻り、第二部では支援のコーディネーターが語り合うという内容で、見知った人たちが登壇され、日々当事者たちと真摯に向き合う姿を改めて知る機会となりました。

各々が様々な困難さを抱えた当事者に向き合う。重度訪問介護の対象拡大によって、向き合う事が可能になったのは確かでも、あくまでも可能になっただけで、「自立生活」とその支援を具体化するには、まだまだ多くの課題があるのだと改めて考える機会を与えられました。

第1部では制度作りに関わる人たちの話。第2部では地域で暮らす当事者たちに向き合う人たちの話。それはそれでとても有意義な話で、いろんなことを改めて振り返りつつ考えるきっかけとなりました。

しかしそこに「地域の人たち」と言う話がなかったことがとても気がかりでした。各々の現場においては、当然「地域の人」や「地域の資源」とつながり取り組まれていると思います。ただ、「重度訪問介護の対象拡大」がもたらすものに、「地域」というものすなわち、当事者も又地域の一員であり、形はどうあれ地域の人とのつながりを常に意識した取り組みがなければ、福祉という世界とは縁がないと考えている人たちとの関わりがなければ、どこか

小田急ちとせふなばし

「言佳でもスペース」

山崎ビル 102 号室

TEL

090-9970-1911

PS
ゆうじ 屋

まいごになたら

TEL下さい

アラン

浦川さんなな_心ちた

がしら? ょり

りりりくるうか
が

もうりりりくる